

西洋文化入門 I

科目ナンバリング EUS-101
選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

ケルトの時代から共和政期までのイギリス劇場文化の史的展開を追う。

2. 授業の到達目標

ケルトの時代から共和政期までのイギリス社会と劇場の関係を理解し説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

各回冒頭で復習の小テストを行う(20%)。レポート課題(20%)。学期末試験(60%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布する。

参考文献

Jane Milling and Peter Thomson ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.1 Origins to 1660
Cambridge University Press

5. 準備学修の内容

川成洋 編著『イギリスの歴史を知るための50章』(明石書店、2016年)から、各回に対応する箇所を読んでおく。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 古代ケルトとローマ帝国時代の演劇(オンライン)
- 【第3回】 キリスト教の伝播と演劇
- 【第4回】 ノルマン朝・プランタジネット朝と中世演劇
- 【第5回】 イングランドの宗教改革と演劇
- 【第6回】 エリザベス朝演劇とイングランド人アイデンティティ
- 【第7回】 エリザベス朝期の社会とウィリアム・シェイクスピア
- 【第8回】 17世紀の社会・国際情勢と『テンペスト』
- 【第9回】 作品視聴:『テンペスト』
- 【第10回】 番外編:日本とシェイクスピア作品
- 【第11回】 宗教改革・同君連合と『マクベス』
- 【第12回】 作品視聴:『マクベス』①
- 【第13回】 作品視聴:『マクベス』②
- 【第14回】 スチュアート朝期と共和政期の演劇・劇場
- 【第15回】 授業内試験